

道の駅「いたの」(徳島県板野町) 企画概要 <新設>

- 日本版DMOであるイーストとくしま観光推進機構を活用した観光資源の発掘、訪日外国人観光客へのサポートなど、次世代観光拠点の形成を図る
- 徳島自動車道と高松自動車道の2つのICに近接した立地を活かし、高速道路の連結拠点と休息機能を有する
- 子育て支援を目的として各種サービスやベビーコーナー等の設置。高齢者、障がい者支援を目的とした各種サービスや福祉スペースの設置
- 広域拠点として地域防災計画に位置付け、災害時の広域避難場所や支援物資流通配給基地、また支援部隊等の支援基地としての機能、及び災害・ドクターヘリポートの整備など、防災「道の駅」への認定を目指す
- 農業者の所得向上と6次産業化や新たな作物づくりへの意欲向上により、農業の継続と発展を図り、次世代の育成を支援
- 自動車の次世代エネルギーとして、EV急速充電器及び水素ステーションの設置



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
道の駅「いたの」	徳島県	板野町	(主)徳島引田線	新設	令和3年	一体型

観光



観光総合案内所
イーストとくしま観光推進機構を活用



道の駅で観光案内
JNTOカテゴリーⅡの認定を目指す

産業



地域特産品の商品化や6次産業化・新たな作物づくりの推進、担い手確保



地産地消レストラン

<提案の先駆性・ポイント>

- 地域特産品の商品化や6次産業化推進
- ゲートウェイとして観光総合案内所によるインバウンド等観光促進、各道の駅とのネットワーク化
- ベビーコーナー等、子育て支援や高齢者、障害者等への地域福祉の充実
- 防災「道の駅」への認定を目指し、災害時の支援物資、支援部隊等の広域防災拠点としての整備
- 高速道路の利用者の休憩機能の確保、EV車等への充電等次世代エネルギー等の提供

<実施内容>

- 地産地消による6次産業化に向けた商品化や惣菜等の実演販売とレシピの配布、地産地消レストランの経営、次世代の担い手の育成・農業支援研修室により専門知識の習得
- DMOを活用し、インバウンド対応した観光案内所の設置と観光モデルルートの構築
- ベビーコーナー等、子育て支援、障がい者支援のためのスペースの整備
- 広域拠点として災害協定の締結・BCPの策定、災害支援物資や部隊受入基地、災害ヘリポート、飲料用貯水槽、防災トイレ及び非常食備蓄倉庫を設置
- 水素ステーションやEV急速充電器を設置、高速バス停留所の設置

道の駅「いたの」計画位置図